

## 基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	研究科の専攻の設置（国際連携専攻）							
フリガナ設置者	コリツカ <sup>レ</sup> イ <sup>ク</sup> カ <sup>ク</sup> ン キ <sup>ク</sup> ガ <sup>ク</sup> イ <sup>ク</sup> 国立大学法人 岐阜大学						【連携外国大学を設置する国】 インド	
フリガナ大学の名称	キ <sup>ク</sup> ガ <sup>ク</sup> イ <sup>ク</sup> カ <sup>ク</sup> イ <sup>ク</sup> 岐阜大学大学院（The Graduate school of Gifu University）						【連携外国大学の名称】 INDIAN INSTITUTE OF TECHNOLOGY GUWAHATI（連携 外国大学が置か れる国で用いら れる言語による 名称は以下のと おり）	
大学本部の位置	岐阜県岐阜市柳戸1番1						【連携外国大学の本部の位置】 Indian Institute of Technology Guwahati, Guwahati - 781039, India	
大学の目的	本学は、地域における学術の中心として、深く専門の学芸を教授研究し、学術文化の発展と交流を担うとともに、広く知識を授け、優れた知的・道徳的・応用的能力を持ち、自立した専門的能力を有する人材の育成を行い、もって学術文化の向上と豊かで安全な人間社会の発展に貢献することを目的とする。							
新設学部等の目的	東海地域とインド北東地域を中心とする日印両国の食品関連産業を牽引する高度専門職業人を指導できる研究開発人材及び大学教員を養成する。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	連合農学研究科 （The United Graduate School of Agricultural Science） 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻 （International Joint Department of Food Science and Technology between Indian Institute of Technology Guwahati and Gifu University）	3	2 <20>	— —	6 <60>	博士（学術） （Doctor of Philosophy）	平成31年4月 第1年次	岐阜県岐阜市柳戸1番1
計			2	—	6			【連携外国大学の学部等名及び所在地】 Department of Biosciences and Bioengineering Department of Chemical Engineering Centre for Rural Technology Indian Institute of Technology Guwahati, Guwahati - 781039, India  < >内の数字は、母体となる自然科学技術研究科全体の入学定員等

同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更)	・自然科学技術研究科岐阜大学・インド工科大学グワハティ校 国際連携食品科学技術専攻(M) (10) (平成30年3月意見伺い)								
	・工学研究科 工学専攻(D) (23) (平成30年4月事前伺い) 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校 国際連携統合機械工学専攻(D) (2) (平成30年8月意見伺い) 岐阜大学・マレーシア国民大学 国際連携材料科学工学専攻(D) (2) (平成30年8月意見伺い) ・共同獣医学研究科共同獣医学専攻(D) (6) (平成30年4月事前伺い)								
	・自然科学技術研究科 生命科学・化学専攻(M) [定員減] (△8) (平成31年4月) 生物生産環境科学専攻(M) [定員減] (△2) (平成31年4月) ・連合農学研究科生物資源科学専攻(D) [定員減] (△2) (平成31年4月)								
	・工学研究科 生産開発システム工学専攻(D) (廃止) (△7) 物質工学専攻(D) (廃止) (△3) 電子情報システム工学専攻(D) (廃止) (△4) 環境エネルギーシステム工学専攻(D) (廃止) (△13) ※平成31年4月学生募集停止 ・医学系研究科再生医科学専攻(D) (廃止) (△6) ※平成31年4月学生募集停止 ・連合獣医学研究科獣医学専攻(D) (廃止) (△6) ※平成31年4月学生募集停止								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	国際連携食品科学技術専攻(D)	8科目	7科目	1科目	16科目	12単位			
教員	学部等の名称	専任教員等						兼任教員等	【連携外国大学と調整を行う専任教員の状況等】 人数：1名 職名：准教授 所属：岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻(D) 平成30年3月意見伺い
		教授	准教授	講師	助教	計	助手		
	連合農学研究科 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校 国際連携食品科学技術専攻(D)	16 (16)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	4 (4)	
	自然科学技術研究科 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校 国際連携食品科学技術専攻(M)	14 (14)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	0 (0)	
	工学研究科 工学専攻(D)	67 (67)	54 (54)	0 (0)	0 (0)	121 (121)	0 (0)	0 (0)	
	新設 工学研究科 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校 国際連携統合機械工学専攻(D)	10 (10)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	2 (2)	
	工学研究科 岐阜大学・マレーシア国民大学 国際連携材料科学工学専攻(D)	10 (10)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	2 (2)	
組織	共同獣医学研究科 共同獣医学専攻(D)	13 (13)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	26 (26)	0 (0)	0 (0)	平成30年4月事前伺い
	計	97 (97)	75 (75)	0 (0)	0 (0)	172 (172)	0 (0)	- (-)	

概 要	の 設 分	既	教育学研究科	10	6	0	0	16	0	1
		教育実践開発専攻(P)	(10)	(6)	(0)	(0)	(16)	(0)	(1)	
		〃	心理発達支援専攻(M)	5	2	0	3	10	0	11
		〃	(5)	(2)	(0)	(3)	(10)	(0)	(11)	
		〃	総合教科教育専攻(M)	38	29	0	9	76	0	76
		〃	(38)	(29)	(0)	(9)	(76)	(0)	(76)	
		地域科学研究科	8	9	0	2	19	0	19	
		地域政策専攻(M)	(8)	(9)	(0)	(2)	(19)	(0)	(19)	
		〃	14	4	1	2	21	0	21	
		〃	(14)	(4)	(1)	(2)	(21)	(0)	(21)	
		医学系研究科	38	29	3	36	106	0	124	
		医科学専攻(D)	(38)	(29)	(3)	(36)	(106)	(0)	(124)	
		〃	10	12	0	15	37	0	15	
		〃	(10)	(12)	(0)	(15)	(37)	(0)	(15)	
		看護学専攻(M)	28	17	0	15	60	0	64	
		自然科学技術研究科	(28)	(17)	(0)	(15)	(60)	(0)	(64)	
		生命科学・化学専攻(M)	22	24	0	9	55	0	60	
		〃	(22)	(24)	(0)	(9)	(55)	(0)	(60)	
		〃	15	8	0	3	26	0	30	
		〃	(15)	(8)	(0)	(3)	(26)	(0)	(30)	
		環境社会基盤工学専攻(M)	19	12	0	10	41	0	45	
		〃	(19)	(12)	(0)	(10)	(41)	(0)	(45)	
		物質・ものづくり工学専攻(M)	21	24	0	12	57	0	61	
		〃	(21)	(24)	(0)	(12)	(57)	(0)	(61)	
		〃	20	12	0	8	40	0	44	
		〃	(20)	(12)	(0)	(8)	(40)	(0)	(44)	
		エネジー工学専攻(M)	15	18	0	3	36	0	15	
連合農学研究科	(15)	(18)	(0)	(3)	(36)	(0)	(15)			
生物生産科学専攻(D)	14	20	0	6	40	0	15			
〃	(14)	(20)	(0)	(6)	(40)	(0)	(15)			
生物環境科学専攻(D)	29	23	0	10	62	0	15			
〃	(29)	(23)	(0)	(10)	(62)	(0)	(15)			
生物資源科学専攻(D)	8	3	0	0	11	0	19			
連合創薬医療情報研究科	(8)	(3)	(0)	(0)	(11)	(0)	(19)			
創薬科学専攻(D)	9	3	0	0	12	0	19			
〃	(9)	(3)	(0)	(0)	(12)	(0)	(19)			
医療情報学専攻(D)	323	255	4	143	725	0	-			
計	(323)	(255)	(4)	(143)	(725)	(0)	(-)			
合 計	336	268	4	143	751	0	-			
	(336)	(268)	(4)	(143)	(751)	(0)	(-)			
教員 以外 の 職員 の 概要	職 種	専 任		兼 任		計		申請大学全体		
	事 務 職 員	329人 (329)		11人 (11)		340人 (340)				
	技 術 職 員	871 (871)		224 (224)		1,095 (1,095)				
	図 書 館 専 門 職 員	7 (7)		0 (0)		7 (7)				
	そ の 他 の 職 員	1 (1)		0 (0)		1 (1)				
	計	1,208 (1,208)		235 (235)		1,443 (1,443)				
校 地 等	区 分	専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用	計		申請大学全体		
	校 舎 敷 地	192,757㎡	0㎡		0㎡	192,757㎡				
	運 動 場 用 地	90,589㎡	0㎡		0㎡	90,589㎡				
	小 計	283,346㎡	0㎡		0㎡	283,346㎡				
	そ の 他	6,045,665㎡	9,051㎡		0㎡	6,054,716㎡				
合 計	6,329,011㎡	9,051㎡		0㎡	6,338,062㎡					
						62,890㎡				

校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	申請大学全体				
		195,928㎡ (195,928㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	195,928㎡ (195,928㎡)	別途附属病院 70,002㎡				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	申請大学全体				
	86室	67室	575室	8室 (補助職員0人)	1室 (補助職員0人)					
専任教員研究室		新設学部等の名称		室数						
		連合農学研究科 国際連携食品科学技術専攻(D)		23 室						
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	専攻単位での特定 不能なため、申請 大学全体の数		
		国際連携専攻食品科学技術専攻	905,757 [303,075] (905,757 [303,075])	24,032 [11,722] (24,032 [11,722])	7,268 [6,048] (7,268 [6,048])	4,331 (4,331)	6,487 (6,487)		2,238 (2,238)	
		計	905,757 [303,075] (905,757 [303,075])	24,032 [11,722] (24,032 [11,722])	7,268 [6,048] (7,268 [6,048])	4,331 (4,331)	6,487 (6,487)		2,238 (2,238)	
図書館		面積		閲覧座席数	収納可能冊数	申請大学全体				
		9,951㎡		712	959,578					
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要			申請大学全体			
		4,616㎡		弓道場、プール、陸上競技場、野球場、ラグビー場、サッカーコート、バスケットボールコート(3面)、ハンドボールコート(2面)、バレーボールコート(4面)、テニスコート(13面)						
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	国費による
		教員1人当り研究費等		-	-	-	-	-	-	
		共同研究費等		-	-	-	-	-	-	
		図書購入費	-	-	-	-	-	-	-	
		設備購入費	-	-	-	-	-	-	-	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			該当なし							
大学の名称		岐阜大学								暫定版 ※定員超過率は H29年度の数値
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
教育学部	年	人	年次人	人		倍		岐阜県岐阜市柳戸1番1		
学校教育教員養成課程	4	230	-	920	学士(教育学)	1.03	平成10年度			
特別支援学校教員養成課程	4	20	-	80	学士(教育学)	0.98	平成19年度			
地域科学部			3年次					岐阜県岐阜市柳戸1番1		
地域政策学科	4	50	5	210	学士(地域科学)	1.08	平成18年度			
地域文化学科	4	50	5	210	学士(地域科学)		平成18年度			
医学部			3年次					岐阜県岐阜市柳戸1番1		
医学科	6	110	-	654	学士(医学)	1.00	昭和39年度			
看護学科	4	80	10	340	学士(看護学)	1.00	平成12年度			
工学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1		
社会基盤工学科	4	60	-	240	学士(工学)	1.05	平成14年度			
機械工学科	4	130	-	520	学士(工学)	1.04	平成25年度			
化学・生命工学科	4	150	-	600	学士(工学)	1.07	平成25年度			
電気電子・情報工学科	4	170	-	680	学士(工学)	1.05	平成25年度			

既設大学等の状況	機械システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	平成25年度より学生募集停止
	応用化学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	平成25年度より学生募集停止
	電気電子工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	平成25年度より学生募集停止
	生命工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	平成25年度より学生募集停止
	応用情報学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	平成25年度より学生募集停止
	機能材料工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	平成25年度より学生募集停止
	人間情報システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	平成25年度より学生募集停止
	(各学科共通)	-	-	30	60	学士(工学)	-		
	応用生物科学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1
	応用生命科学課程	4	80	5	330	学士(応用生物科学)	1.07	平成23年度	
	生産環境科学課程	4	80	5	330	学士(応用生物科学)	1.03	平成16年度	
	共同獣医学科	6	30	-	180	学士(獣医学)	1.04	平成25年度	
	獣医学課程	6	-	-	-	学士(獣医学)	-	平成16年度	平成25年度より学生募集停止
	教育学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1
	教職実践開発専攻(P)	2	25	-	50	教職修士(専門職)	1.00	平成20年度	
	心理発達支援専攻(M)	2	10	-	20	修士(教育学)	0.85	平成20年度	
	総合教科教育専攻(M)	2	34	-	68	修士(教育学)	1.16	平成25年度	
	教科教育専攻(M)	2	-	-	-	修士(教育学)	-	平成7年度	平成25年度より学生募集停止
	地域科学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1
	地域政策専攻(M)	2	12	-	24	修士(地域科学)	0.29	平成13年度	
	地域文化専攻(M)	2	8	-	16	修士(地域科学)	1.87	平成13年度	
	医学系研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1
	医科学専攻(D)	4	47	-	188	博士(医学)	0.78	平成14年度	
	再生医科学専攻(M)	2	-	-	-	修士(再生医科学)	-	平成14年度	平成29年度より学生募集停止
	再生医科学専攻(D)	3	6	-	18	博士(再生医科学)	0.27	平成14年度	
	看護学専攻(M)	2	8	-	16	修士(看護学)	0.68	平成17年度	
	工学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1
	社会基盤工学専攻(M)	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	平成29年度より学生募集停止
	機械システム工学専攻(M)	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	平成29年度より学生募集停止
	応用化学専攻(M)	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	平成29年度より学生募集停止
電気電子工学専攻(M)	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	平成29年度より学生募集停止	
生命工学専攻(M)	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	平成29年度より学生募集停止	
応用情報学専攻(M)	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	平成29年度より学生募集停止	
機能材料工学専攻(M)	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	平成29年度より学生募集停止	
人間情報システム工学専攻(M)	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	平成29年度より学生募集停止	
数理デザイン工学専攻(M)	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	平成29年度より学生募集停止	
環境エネルギーシステム専攻(M)	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	平成29年度より学生募集停止	

生産開発システム工学専攻(D)	3	7	-	21	博士(工学)	1.80	平成3年度	
物質工学専攻(D)	3	3	-	9	博士(工学)	1.33	平成3年度	
電子情報システム工学専攻(D)	3	4	-	12	博士(工学)	1.25	平成3年度	
環境エネルギーシステム専攻(D)	3	13	-	39	博士(工学)	0.35	平成11年度	
応用生物科学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1
応用生命科学専攻(M)	2	-	-	-	修士(応用生物科学)	-	平成25年度	平成29年度より 学生募集停止
生産環境科学専攻(M)	2	-	-	-	修士(応用生物科学)	-	平成25年度	平成29年度より 学生募集停止
自然科学技術研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1
生命科学・化学専攻(M)	2	82	-	164	修士(工学または 応用生物科学)	1.10	平成29年度	
生物生産環境科学専攻(M)	2	44	-	88	修士(応用生物科学)	1.15	平成29年度	
環境社会基盤工学専攻(M)	2	29	-	58	修士(工学)	1.10	平成29年度	
物質・ものづくり工学専攻(M)	2	67	-	134	修士(工学)	1.20	平成29年度	
知能理工学専攻(M)	2	81	-	162	修士(工学)	1.23	平成29年度	
エネルギー工学専攻(M)	2	72	-	144	修士(工学)	1.27	平成29年度	
連合農学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1
生物生産科学専攻(D)	3	7	-	21	博士(農学)	0.95	平成3年度	
生物環境科学専攻(D)	3	5	-	15	博士(農学)	1.06	平成3年度	
生物資源科学専攻(D)	3	8	-	24	博士(農学)	1.66	平成3年度	
連合獣医学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1
獣医学専攻(D)	4	6	-	66	博士(獣医学)	1.46	平成2年度	平成30年度入学定員 減(△14名)
連合創薬医療情報研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1
創薬科学専攻(D)	3	3	-	9	博士(工学または 薬科学)	1.00	平成19年度	
医療情報学専攻(D)	3	3	-	9	博士(医科学または 薬科学)	1.22	平成19年度	
<p>名称：教育学部附属小・中学校  目的：小学校教育、中学校教育、研究及び教員養成  所在地：岐阜県岐阜市加納大手町74番地  設置年月：附属小学校 昭和27年4月  附属中学校 昭和26年4月  規模等(延面積)：13,531㎡</p> <p>名称：医学部附属病院  目的：診療、医学の教育及び研究  所在地：岐阜県岐阜市柳戸1番1  設置年月：昭和42年6月  規模等(延面積)：72,552㎡</p> <p>名称：応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター  美濃加茂農場  目的：農学、獣医学の教育及び研究  所在地：岐阜県美濃加茂市牧野1918-1  設置年月：平成16年4月  規模等(延面積)：建物 1,590㎡  土地 95,832㎡</p>								

附属施設の概要	<p>名称： 応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター 位山演習林</p> <p>目的： 農学の教育及び研究</p> <p>所在地： 岐阜県下呂市萩原町山之口</p> <p>設置年月： 平成16年4月</p> <p>規模等(延面積)： 建物 1,103㎡ 土地 5,539,302㎡</p>	
	<p>名称： 応用生物科学部附属動物病院</p> <p>目的： 診療、獣医学の教育及び研究</p> <p>所在地： 岐阜県岐阜市柳戸1番1</p> <p>設置年月： 平成16年4月</p> <p>規模等(延面積)： 3,297㎡</p>	
	<p>名称： 教育推進・学生支援機構</p> <p>目的： 教育推進、学生支援</p> <p>所在地： 岐阜県岐阜市柳戸1番1</p> <p>設置年月： 平成25年12月</p> <p>規模等(延面積)： 7,003㎡</p>	
	<p>名称： 研究推進・社会連携機構</p> <p>目的： 研究推進、教育研究活動支援、産学連携・地域連携推進</p> <p>所在地： 岐阜県岐阜市柳戸1番1</p> <p>設置年月： 平成24年8月</p> <p>規模等(延面積)： 3,906㎡</p>	
	<p>名称： 流域圏科学研究センター</p> <p>目的： 流域圏科学分野の研究</p> <p>所在地： 岐阜県岐阜市柳戸1番1 (高山試験地 岐阜県高山市岩井町919の47)</p> <p>設置年月： 平成14年4月</p> <p>規模等(延面積)： 1,890㎡</p>	
	<p>名称： 保健管理センター</p> <p>目的： 学生及び教職員の健康管理</p> <p>所在地： 岐阜県岐阜市柳戸1番1</p> <p>設置年月： 昭和49年4月</p> <p>規模等(延面積)： 525㎡</p>	
	<p>名称： 医学教育開発研究センター</p> <p>目的： 医学教育に関する研修、調査分析等</p> <p>所在地： 岐阜県岐阜市柳戸1番1</p> <p>設置年月： 平成13年4月</p> <p>規模等(延面積)： 422㎡</p>	

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校に収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「－」又は「該当なし」と記入すること。

国立大学法人岐阜大学 設置申請に係わる組織の移行表

平成30年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	平成31年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
<b>岐阜大学</b>				<b>岐阜大学</b>				
教育学部				教育学部				
学校教育教員養成課程	230	—	920	学校教育教員養成課程	230	—	920	
特別学校支援教員養成課程	20	—	80	特別学校支援教員養成課程	20	—	80	
地域科学部		3年次		地域科学部		3年次		
地域政策学科	50	5	210	地域政策学科	50	5	210	
地域文化学科	50	5	210	地域文化学科	50	5	210	
医学部		3年次		医学部		3年次		
医学科(6年制)	110	—	654	医学科(6年制)	110	—	657	地域の医師確保等の観点からの平成27年度医学部入学定員の増加に伴う収容定員の変更(3)
看護学科	80	10	340	看護学科	80	10	340	
工学部		3年次		工学部		3年次		
社会基盤工学科	60	30	2,100	社会基盤工学科	60	30	2,100	
機械工学科	130	(各学科共通)		機械工学科	130	(各学科共通)		
化学・生命工学科	150			化学・生命工学科	150			
電気電子・情報工学科	170			電気電子・情報工学科	170			
応用生物科学部		3年次		応用生物科学部		3年次		
応用生命科学課程	80	5	330	応用生命科学課程	80	5	330	
生産環境科学課程	80	5	330	生産環境科学課程	80	5	330	
共同獣医学科(6年制)	30	—	180	共同獣医学科(6年制)	30	—	180	
計	1,240	60	5,354	計	1,240	60	5,357	
<b>岐阜大学大学院</b>				<b>岐阜大学大学院</b>				
教育学研究科				教育学研究科				
教職実践開発専攻(P)	25	—	50	教職実践開発専攻(P)	25	—	50	
心理発達支援専攻(M)	10	—	20	心理発達支援専攻(M)	10	—	20	
総合教科教育専攻(M)	34	—	68	総合教科教育専攻(M)	34	—	68	
地域科学研究科				地域科学研究科				
地域政策専攻(M)	12	—	24	地域政策専攻(M)	12	—	24	
地域政策専攻(M)	8	—	16	地域政策専攻(M)	8	—	16	
医学系研究科				医学系研究科				
医科学専攻(4年制D)	47	—	188	医科学専攻(4年制D)	47	—	188	
再生医科学専攻(D)	6	—	18	看護学専攻(M)	0	—	0	平成31年4月学生募集停止
看護学専攻(M)	8	—	16	看護学専攻(M)	8	—	16	
工学研究科				工学研究科				
生産開発システム工学専攻(D)	7	—	21	工学専攻(D)	23	—	69	研究科の専攻の設置(事前伺い)
物質工学専攻(D)	3	—	9	岐阜大学・インド工科大学グワハティ校				
電子情報システム工学専攻(D)	4	—	12	国際連携統合機械工学専攻(D)	2	—	6	研究科の専攻の設置(意見伺い)
環境エネルギーシステム専攻(D)	13	—	39	岐阜大学・マレーシア国民大学				
				国際連携材料科学工学専攻(D)	2	—	6	研究科の専攻の設置(意見伺い)
自然科学技術研究科				自然科学技術研究科				
生命科学・化学専攻(M)	82	—	164	生命科学・化学専攻(M)	74	—	148	定員変更(△8)
生物生産環境科学専攻(M)	44	—	88	生物生産環境科学専攻(M)	42	—	84	定員変更(△2)
環境社会基盤工学専攻(M)	29	—	58	環境社会基盤工学専攻(M)	29	—	58	
物質・ものづくり工学専攻(M)	67	—	134	物質・ものづくり工学専攻(M)	67	—	134	
知能理工学専攻(M)	81	—	162	知能理工学専攻(M)	81	—	162	
エネルギー工学専攻(M)	72	—	144	エネルギー工学専攻(M)	72	—	144	
				岐阜大学・インド工科大学グワハティ校				
				国際連携食品科学技術専攻(M)	10	—	20	研究科の専攻の設置(意見伺い)
連合農学研究科				連合農学研究科				
生物生産科学専攻(D)	7	—	21	生物生産科学専攻(D)	7	—	21	
生物環境科学専攻(D)	5	—	15	生物環境科学専攻(D)	5	—	15	
生物資源科学専攻(D)	8	—	24	生物資源科学専攻(D)	6	—	18	定員変更(△2)
				岐阜大学・インド工科大学グワハティ校				
				国際連携食品科学技術専攻(D)	2	—	6	研究科の専攻の設置(意見伺い)
連合獣医学研究科				連合獣医学研究科				
獣医学専攻(4年制D)	6	—	24	共同獣医学研究科				
				共同獣医学専攻(4年制D)	6	—	24	研究科の設置(事前伺い)
連合創薬医療情報研究科				連合創薬医療情報研究科				
創薬科学専攻(D)	3	—	9	創薬科学専攻(D)	3	—	9	
医療情報学専攻(D)	3	—	9	医療情報学専攻(D)	3	—	9	
計	584	—	1,333	計	578	—	1,315	



教育課程等の概要（国際連携学科等）

（岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻(D)）

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置										備考			
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	申請大学					連携外国大学								
											教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員		助手に相当する教員	小計	合計
共通科目	総合農学ゼミナール		1・2 ②	岐阜大学	1			○				1									0	1	兼2：集中 オムニバス	
	研究者倫理・職業倫理		1・2 ②	岐阜大学	0.5			○				1										0	1	兼2：集中 オムニバス
	メンタルヘルス・フィジカルヘルス		1・2 ②	岐阜大学	0.5			○				1										0	1	集中
	農学特別講義Ⅱ（英語）		1・2・3 ③	岐阜大学		1		○				1										0	1	集中 メディア
	農学特別講義Ⅲ		1・2・3 通	岐阜大学		1		○				1										0	1	
	インターネットチュートリアル		1・2 ③④	岐阜大学		1			○			1	2									0	3	
	研究インターンシップ		1・2・3 通	岐阜大学		1				○		1										0	1	
	科学英語ライティング		1・2 ④	岐阜大学		1		○														0	0	兼1
	カルタヘナ議定書		1・2 ④	岐阜大学		1		○														0	0	兼1：集中
小計（9科目）		—			2	6	0				3	2	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5	兼4	
岐阜大学 専攻科目	ディサテーションプロジェクトプロポーザル	○	1 ①	岐阜大学・インド工科大学	1				○		13	5				18	17	21				38	56	
	バイマンスリープログレスレビュー	○	1～3 通	岐阜大学・インド工科大学	3				○		13	5				18	17	21				38	56	
	アニュアルプログレスレビュー	○	1～2 ④	岐阜大学・インド工科大学	2				○		13	5				18	17	21				38	56	
	ディサテーションシノプシスレビュー	○	3 ③	岐阜大学・インド工科大学	1				○		13	5				18	17	21				38	56	
	食品科学技術特別講義		3 ①②	岐阜大学		1		○			13	4				17						0	17	
	食品科学技術特別ゼミナール		3 ③④	岐阜大学		1			○		13	5				18						0	18	
	食品科学技術特別演習		3 ①②	岐阜大学		1			○		13	5				18						0	18	
	小計（7科目）		—			7	3	0			13	5	0	0	0	18	17	21	0	0	0	38	56	
合計（16科目）		—			9	9	0			16	7	0	0	0	23	17	21	0	0	0	38	61	兼4	

学位又は称号	博士（学術）	学位又は学科の分野	農学関係	
卒業要件及び履修方法		開設大学等	開設単位数（必修）	授業期間等
<p>本専攻に3年以上在学したうえ、下記の要件を満たした者について、博士（学術）の学位を授与する。</p> <p>1 修了に必要な最低修得単位数12単位（必修9単位、選択3単位）を取得する。</p> <p>2 学位論文の審査及び最終試験に合格する。</p> <p>学位論文審査を申請する要件は、学位論文の基礎となる学術論文（単著論文、筆頭著者又は筆頭著者相当と認められる共著論文）（以下「基礎となる学術論文」という。）を2編以上有するものとする。ただし、基礎となる学術論文のうち少なくとも1編は、博士課程在学中の研究成果に基づく学術論文（総説を除く）であり、筆頭著者であること（筆頭著者相当と認められる論文はこれに該当しない）。なお、1編は総説とすることができる。</p> <p>&lt;配当年次欄について&gt;          本専攻は、以下のとおり配当年次の記載方法を決めた上で、記載した。          ①：4, 5月          ②：6, 7月          ③：10, 11月          ④：12, 1月</p>		岐阜大学	11(2)	1 学年の学期区分 4期
		インド工科大学グワハティ校	0(0)	1 学期の授業期間 8週
		共同開設科目	7(7)	1 時限の授業時間 90分(岐阜大学), 55分(インド工科大学グワハティ校)

(注)

- 国際連携学科等を設置する場合は、別記様式第2号（その2の1）に代えて、この書類を作成すること。加えて、国際連携学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については、当該科目の単位を修得した場合に、単位を修得したとする大学の書類に含めること。
- 私立の大学若しくは高等専門学校に収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教育課程等の概要（国際連携学科等）

（岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻(D)）（岐阜大学）

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置										備考			
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	申請大学					連携外国大学								
											教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員		助手に相当する教員	小計	合計
共通科目	総合農学ゼミナール		1・2 ②	岐阜大学	1			○				1								0	1	兼2：集中 オムニバス 兼2：集中 オムニバス 集中 メディア 兼1 兼1：集中 兼4		
	研究者倫理・職業倫理		1・2 ②	岐阜大学	0.5			○				1								0	1			
	メンタルヘルス・フィジカルヘルス		1・2 ②	岐阜大学	0.5			○				1								0	1			
	農学特別講義Ⅱ（英語）		1・2・3 ③	岐阜大学		1		○				1								0	1			
	農学特別講義Ⅲ		1・2・3 通	岐阜大学		1		○				1								0	1			
	インターネットチュートリアル		1・2 ③④	岐阜大学		1			○			1	2							0	3			
	研究インターンシップ		1・2・3 通	岐阜大学		1				○		1								0	1			
	科学英語ライティング		1・2 ④	岐阜大学		1		○				0								0	0			
	カルタヘナ議定書		1・2 ④	岐阜大学		1		○				0								0	0			
小計（9科目）		—			2	6	0	—			3	2	0	0	0	0	0	0	0	5	5			
岐阜大学 開講科目	ディサテーションプロジェクトプロポーザル	○	1 ①	岐阜大学・インド工科大学	1				○		13	5					18	17	21			38	56	
	バイマンスリープログレスレビュー	○	1~3 通	岐阜大学・インド工科大学	3				○		13	5					18	17	21			38	56	
	アニュアルプログレスレビュー	○	1~2 ④	岐阜大学・インド工科大学	2				○		13	5					18	17	21			38	56	
	ディサテーションシノプシスレビュー	○	3 ③	岐阜大学・インド工科大学	1				○		13	5					18	17	21			38	56	
	食品科学技術特別講義		3 ①②	岐阜大学		1		○			13	4					17					0	17	
	食品科学技術特別セミナー		3 ③④	岐阜大学		1			○		13	5					18					0	18	
	食品科学技術特別演習		3 ①②	岐阜大学		1			○		13	5					18					0	18	
小計（7科目）		—			7	3	0	—			13	5	0	0	0	18	17	21	0	0	0	38	56	
合計（16科目）						—					16	7	0	0	0	23	17	21	0	0	0	38	61	兼4

学位又は称号	博士（学術）	学位又は学科の分野	農学関係		
卒業要件及び履修方法		開設大学等	開設単位数（必修）	授業期間等	
本専攻に3年以上在学したうえ、下記の要件を満たした者について、博士（学術）の学位を授与する。 1 修了に必要な最低修得単位数12単位（必修9単位、選択3単位）を取得する。 2 学位論文の審査及び最終試験に合格する。 学位論文審査を申請する要件は、学位論文の基礎となる学術論文（単著論文、筆頭著者又は筆頭著者相当と認められる共著論文）（以下「基礎となる学術論文」という。）を2編以上有するものとする。ただし、基礎となる学術論文のうち少なくとも1編は、博士課程在学中の研究成果に基づく学術論文（総説を除く）であり、筆頭著者であること（筆頭著者相当と認められる論文はこれに該当しない）。なお、1編は総説とすることができる。  <配当年次欄について> 本専攻は、以下のとおり配当年次の記載方法を決めた上で、記載した。 ①：4, 5月 ②：6, 7月 ③：10, 11月 ④：12, 1月		岐阜大学	11(2)	1 学年の学期区分	4期
		共同開設科目	7(7)	1 学期の授業期間	8週
				1 時限の授業時間	90分

(注)

- 国際連携学科等を設置する場合は、別記様式第2号（その2の1）に代えて、この書類を作成すること。加えて、国際連携学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については、当該科目の単位を修得した場合に、単位を修得したとする大学の書類に含めること。
- 私立の大学若しくは高等専門学校に収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。



教 育 課 程 等 の 概 要															
(連合農学研究科 生物生産科学専攻(D))															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	総合農学ゼミナール	1前	1			○			1						兼2：集中 オムニバス 兼2：集中 オムニバス 集中 集中 集中 メディア  兼1 兼1：集中 兼8 兼1 兼2：集中
	研究者倫理・職業倫理	2通	0.5			○			1						
	メンタルヘルス・フィジカルヘルス	2通	0.5			○			1						
	農学特別講義Ⅰ（日本語）	1前		1		○			1						
	農学特別講義Ⅱ（英語）	1後		1		○			1						
	農学特別講義Ⅲ	1・2・3通		1		○			1						
	インターネットチュートリアル	1後		1			○		1	2					
	研究インターンシップ	1・2・3通		1				○	1						
	科学英語ライティング	1後		1		○									
	カルタヘナ議定書	1後		1		○									
	エンライトメント・レクチャー	2前		1		○									
	ビジネス英語	2前		2			○								
	アイデア・トレーニング・キャンプ	2前		1			○								
小計（13科目）	—		2	11	0	—	—	—	3	2	0	0	0	兼15	
専門科目	植物生産管理学特別研究	1～3	6				○		6	6					
	動物生産利用学特別研究	1～3	6				○		6	3					
	植物生産管理学特別講義	2後		1		○			6	6					
	動物生産利用学特別講義	2後		1		○			6	3					
	植物生産管理学特別ゼミナール	2前		1			○		6	11		3			
	動物生産利用学特別ゼミナール	2前		1			○		7	5		1			
	植物生産管理学特別演習	3前		1			○		6	11		3			
	動物生産利用学特別演習	3前		1			○		7	5		1			
小計（8科目）	—		12	6	0	—	—	—	13	16	0	3	0		
合計（21科目）	—		14	17	0	—	—	—	15	18	0	3	0	兼15	
学位又は称号	博士（農学）			学位又は学科の分野			農学関係								
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
本専攻に3年以上在学したうえ、下記の要件を満たした者について、博士（農学）の学位を授与する。 1 修了に必要な最低修得単位数12単位（必修8単位、選択4単位）を取得する。 2 学位論文の審査及び最終試験に合格する。 学位論文審査を申請する要件は、学位論文の基礎となる学術論文（単著論文、筆頭著者又は筆頭著者相当と認められる共著論文）（以下「基礎となる学術論文」という。）を2編以上有するものとする。ただし、基礎となる学術論文のうち少なくとも1編は、博士課程在学中の研究成果に基づく学術論文（総説を除く）であり、筆頭著者であること（筆頭著者相当と認められる論文はこれに該当しない）。なお、1編は総説とすることができる。								1 学年の学期区分			2期				
								1 学期の授業期間			15週				
								1 時限の授業時間			90分				

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学若しくは高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教育課程等の概要															
(連合農学研究科 生物環境科学専攻(D))															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	総合農学ゼミナール	1前	1			○			1						兼2：集中 オムニバス 兼2：集中 オムニバス 集中 集中 メディア  兼1 兼1：集中 兼8 兼1 兼2：集中
	研究者倫理・職業倫理	2通	0.5			○			1						
	メンタルヘルス・フィジカルヘルス	2通	0.5			○			1						
	農学特別講義Ⅰ（日本語）	1前		1		○			1						
	農学特別講義Ⅱ（英語）	1後		1		○			1						
	農学特別講義Ⅲ	1・2・3通		1		○			1						
	インターネットチュートリアル	1後		1			○		1	2					
	研究インターンシップ	1・2・3通		1				○	1						
	科学英語ライティング	1後		1		○									
	カルタヘナ議定書	1後		1		○									
	エンライトメント・レクチャー	2前		1		○									
ビジネス英語	2前		2			○									
アイデア・トレーニング・キャンプ	2前		1			○									
小計（13科目）		—	2	11	0	—	—	—	3	2	0	0	0	兼15	
専門科目	環境整備学特別研究	1～3	6				○		2	4					
	生物環境管理学特別研究	1～3	6				○		9	7					
	環境整備学特別講義	2後		1		○			2	4					
	生物環境管理学特別講義	2後		1		○			9	7					
	環境整備学特別ゼミナール	2前		1			○		3	7		1			
	生物環境管理学特別ゼミナール	2前		1			○		9	15		5			
	環境整備学特別演習	3前		1			○		3	7		1			
	生物環境管理学特別演習	3前		1			○		9	15		5			
小計（8科目）		—	12	6	0	—	—	—	12	22	0	6	0		
合計（21科目）		—	14	17	0	—	—	—	14	20	0	6	0	兼15	
学位又は称号	博士（農学）			学位又は学科の分野				農学関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
本専攻に3年以上在学したうえ、下記の要件を満たした者について、博士（農学）の学位を授与する。 1 修了に必要な最低修得単位数12単位（必修8単位、選択4単位）を取得する。 2 学位論文の審査及び最終試験に合格する。 学位論文審査を申請する要件は、学位論文の基礎となる学術論文（単著論文、筆頭著者又は筆頭著者相当と認められる共著論文）（以下「基礎となる学術論文」という。）を2編以上有するものとする。ただし、基礎となる学術論文のうち少なくとも1編は、博士課程在学中の研究成果に基づく学術論文（総説を除く）であり、筆頭著者であること（筆頭著者相当と認められる論文はこれに該当しない）。なお、1編は総説とすることができる。								1 学年の学期区分				2期			
								1 学期の授業期間				15週			
								1 時限の授業時間				90分			

（注）

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学若しくは高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教育課程等の概要															
(連合農学研究科 生物資源科学専攻(D))															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	総合農学ゼミナール	1前	1			○			1						兼2：集中 オムニバス 兼2：集中 オムニバス 集中 集中 メディア  兼1 兼1：集中 兼8 兼1 兼2：集中
	研究者倫理・職業倫理	2通	0.5			○			1						
	メンタルヘルス・フジナルヘルス	2通	0.5			○			1						
	農学特別講義Ⅰ（日本語）	1前		1		○			1						
	農学特別講義Ⅱ（英語）	1後		1		○			1						
	農学特別講義Ⅲ	1・2・3通		1		○			1						
	インターネットチュートリアル	1後		1			○		1	2					
	研究インターンシップ	1・2・3通		1				○	1						
	科学英語ライティング	1後		1		○									
	カルタヘナ議定書	1後		1		○									
	エンライメント・レクチャー	2前		1		○									
	ビジネス英語	2前		2			○								
アイデア・トレーニング・キャンプ	2前		1			○									
小計（13科目）		—	2	11	0				3	2	0	0	0	兼15	
専門科目	生物資源利用学特別研究	1～3	6				○		5	4					
	スマートマテリアル科学特別研究	1～3	6				○		6	1					
	生物機能制御学特別研究	1～3	6				○		13	5					
	生物資源利用学特別講義	2後		1		○			5	4					
	スマートマテリアル科学特別講義	2後		1		○			6	1					
	生物機能制御学特別講義	2後		1		○			13	5					
	生物資源利用学特別ゼミナール	2前		1			○		6	7		7			
	スマートマテリアル科学特別ゼミナール	2前		1			○		7	2		1			
	生物機能制御学特別ゼミナール	2前		1			○		13	12		2			
	生物資源利用学特別演習	3前		1			○		6	7		7			
	スマートマテリアル科学特別演習	3前		1			○		7	2		1			
	生物機能制御学特別演習	3前		1			○		13	12		2			
小計（12科目）		—	18	9	0				26	21	0	10	0		
合計（25科目）			—	20	20	0			29	23	0	10	0	兼15	
学位又は称号	博士（農学）		学位又は学科の分野			農学関係									
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
本専攻に3年以上在学したうえ、下記の要件を満たした者について、博士（農学）の学位を授与する。 1 修了に必要な最低修得単位数12単位（必修8単位、選択4単位）を取得する。 2 学位論文の審査及び最終試験に合格する。 学位論文審査を申請する要件は、学位論文の基礎となる学術論文（単著論文、筆頭著者又は筆頭著者相当と認められる共著論文）（以下「基礎となる学術論文」という。）を2編以上有するものとする。ただし、基礎となる学術論文のうち少なくとも1編は、博士課程在学中の研究成果に基づく学術論文（総説を除く）であり、筆頭著者であること（筆頭著者相当と認められる論文はこれに該当しない）。なお、1編は総説とすることができる。								1学年の学期区分			2期				
								1学期の授業期間			15週				
								1時限の授業時間			90分				



(注)

- 1 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。

授業科目の概要（国際連携学科等）					
（岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻(D)）					
科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
共通科目	岐阜大学	総合農学ゼミナール	プレゼンテーション・コミュニケーション能力向上のため、2泊3日の合宿形式にて、各学生が研究テーマに沿ったプレゼンテーションを行い、また、他の連合農学研究科の講師による講演を実施する。 （オムニバス方式／全8回：1回あたり2時間） （1 中野 浩平／7回） 各学生のプレゼンテーションの指導及び総括を行う。 （24 スリカンタ 彩智／1回） ノーベル医学賞・生理学賞の受賞者と受賞分野、受賞するために求められる事項について講義を行う。 （26 Onwa-Agyeman Siaw／1回） 研究を進める上での課題、英文論文作成のための注意点、口頭発表の要点について講義を行う。 ※スリカンタ 彩智とOnwa-Agyeman Siawの講義はあわせて1回。	オムニバス方式	
	岐阜大学	研究者倫理・職業倫理	研究者が持つべき倫理規範について学び、研究者・職業人としての倫理意識を高める。 （オムニバス方式／全4回：1回あたり2時間） （1 中野 浩平） コーディネーター及び総括を行う。 （24 スリカンタ 彩智／2回） 昨今の研究者の不正事例を題材に、研究者としての倫理について講義を行い、グループワークにて議論・発表を行う。 （25 加藤 晴也／2回） 法令や職業間で共有される原則を取り上げ、企業等の団体に属したときにどのように社会に貢献するか講義を行う。	オムニバス方式	
	岐阜大学	メンタルヘルス・フィジカルヘルス	研究者自身の心身の健康を保つための基本的知識について学び、研究者・職業人としての倫理意識を高める。		
	岐阜大学	農学特別講義Ⅱ（英語）	全国の連合農学研究科の教員による多地点制御遠隔講義システムを利用した講義を受講することにより、最新の研究内容を学び、高度の専門的知識を習得する。また、他の連合農学研究科の学生と講義を共有することにより、広い視野を持つことを目標とする。		
	岐阜大学	農学特別講義Ⅲ	南部アジア教育連携コンソーシアム（IC-GU12）加盟校で教員として活躍している本研究科の修了生を講師として招聘し、研究内容を聴講することにより、自分の専門分野に留まらず、広い視点を持つことを目標とする。		
	岐阜大学	インターネットチュートリアル	「Foods and Culture」に関するテーマに対し、インターネット上のメーリングリストに投稿し、相互に議論を行うことで、広く国際社会の状況を深く理解し、自らの専門研究の国際的活用を検討できる高度な思考能力を鍛える。		

	岐阜大学	研究インターンシップ	南部アジア教育連携コンソーシアム（IC-GU12）加盟校及びインダストリー部会加盟企業、または、他の教育・研究機関にてインターンシップを行うことで、課題探求能力、研究能力及び問題解決能力を身につける。	
	岐阜大学	科学英語ライティング	参加者自身の研究テーマに関する総説論文の執筆をとおして、研究者として必要な英語論文の執筆法を実践的に学ぶ。	
	岐阜大学	カルタヘナ議定書	遺伝資源の提供国と利用国の win-win の関係に向けて、参加者間で議論を行い、遺伝資源や遺伝子組み換え生物に関わる研究活動をする際に注意しなければならない法令規範を身に付ける。	
専門科目	岐阜大学・インド工科大学	ディザベーションプロジェクトプロポーザル	学生は何が解決すべき問題で、何を解明すべきなのか等、研究の背景について体系的に理解する。それに基づき研究の目的を設定し、研究計画を策定する。ビデオ会議システムの利用などにより学生指導委員会を構成する両大学の教員が出席の下、学生は研究計画について発表、質疑応答を行う。	
	岐阜大学・インド工科大学	バイマンスリープログレスレビュー	学生は研究の進捗を共同指導教員に報告し、問題点や今後の計画などを話し合う。4 学期制の各学期に 1 度行うこととする。	
	岐阜大学・インド工科大学	アニュアルプログレスレビュー	1年に1度、学生は学生指導委員会において研究の進捗を報告、質疑応答を行う。	
	岐阜大学・インド工科大学	ディザベーションシノプシスレビュー	博士入学以降に得られた研究成果、国際論文の公表状況、どのように博士論文を取りまとめるのかについて、学生は学生指導委員会で発表、質疑応答を行う。主・副両大学の教員による学生指導委員会での審査を経て、博士論文提出の可否が決定される。	
	岐阜大学	食品科学技術特別講義	食品科学技術分野における最先端の技術について紹介し、食品科学技術研究に応用するための高度な知識と理論を習得する。	
	岐阜大学	食品科学技術特別ゼミナール	食品科学技術分野に関する最新の研究に関して紹介するとともに、それに基づく議論を行う。研究者や教育者に求められる幅広い視点と素養を習得する。	
	岐阜大学	食品科学技術特別演習	食品科学技術に関する最新の研究成果について取り上げ、研究の背景、最近の動向及び将来展望について討論する。研究者に求められる課題発見能力や問題解決能力を習得する。	

(注)

- 1 国際連携学科等を設置する場合は、別記様式第2号（その3の1）に代えて、この書類を作成すること。加えて、国際連携教育学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については、当該科目の単位を修得した場合に、単位を修得したとする大学の書類に含めること。
- 2 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 3 私立の大学若しくは高等専門学校に於ける学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。

授業科目の概要（国際連携学科等）				
（岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻(D)）（岐阜大学）				
科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	岐阜大学	総合農学ゼミナール	プレゼンテーション・コミュニケーション能力向上のため、2泊3日の合宿形式にて、各学生が研究テーマに沿ったプレゼンテーションを行い、また、他の連合農学研究科の講師による講演を実施する。 （オムニバス方式／全8回：1回あたり2時間） （1 中野 浩平／7回） 各学生のプレゼンテーションの指導及び総括を行う。 （24 スリカンタ 彩智／1回） ノーベル医学賞・生理学賞の受賞者と受賞分野、受賞するために求められる事項について講義を行う。 （26 Onwa-Agyeman Siaw／1回） 研究を進める上での課題、英文論文作成のための注意点、口頭発表の要点について講義を行う。 ※スリカンタ 彩智とOnwa-Agyeman Siawの講義はあわせて1回。	オムニバス方式
	岐阜大学	研究者倫理・職業倫理	研究者が持つべき倫理規範について学び、研究者・職業人としての倫理意識を高める。 （オムニバス方式／全4回：1回あたり2時間） （1 中野 浩平） コーディネーター及び総括を行う。 （24 スリカンタ 彩智／2回） 昨今の研究者の不正事例を題材に、研究者としての倫理について講義を行い、グループワークにて議論・発表を行う。 （25 加藤 晴也／2回） 法令や職業間で共有される原則を取り上げ、企業等の団体に属したときにどのように社会に貢献するか講義を行う。	オムニバス方式
	岐阜大学	メンタルヘルス・フィジカルヘルス	研究者自身の心身の健康を保つための基本的知識について学び、研究者・職業人としての倫理意識を高める。	
	岐阜大学	農学特別講義Ⅱ（英語）	全国の連合農学研究科の教員による多地点制御遠隔講義システムを利用した講義を受講することにより、最新の研究内容を学び、高度の専門的知識を習得する。また、他の連合農学研究科の学生と講義を共有することにより、広い視野を持つことを目標とする。	
	岐阜大学	農学特別講義Ⅲ	南部アジア教育連携コンソーシアム（IC-GU12）加盟校で教員として活躍している本研究科の修了生を講師として招聘し、研究内容を聴講することにより、自分の専門分野に留まらず、広い視点を持つことを目標とする。	
	岐阜大学	インターネットチュートリアル	「Foods and Culture」に関するテーマに対し、インターネット上のメーリングリストに投稿し、相互に議論を行うことで、広く国際社会の状況を深く理解し、自らの専門研究の国際的活用を検討できる高度な思考能力を鍛える。	
	岐阜大学	研究インターンシップ	南部アジア教育連携コンソーシアム（IC-GU12）加盟校及びインダストリー部会加盟企業、または、他の教育・研究機関にてインターンシップを行うことで、課題探求能力、研究能力及び問題解決能力を身につける。	

	岐阜大学	科学英語ライティング	参加者自身の研究テーマに関する総説論文の執筆をとおして、研究者として必要な英語論文の執筆法を実践的に学ぶ。	
	岐阜大学	カルタヘナ議定書	遺伝資源の提供国と利用国の win-win の関係に向けて、参加者間で議論を行い、遺伝資源や遺伝子組み換え生物に関わる研究活動をする際に注意しなければならない法令規範を身に付ける。	
専門科目	岐阜大学・インド工科大学	ディザテーションプロジェクトプロポーザル	学生は何が解決すべき問題で、何を解明すべきなのか等、研究の背景について体系的に理解する。それに基づき研究の目的を設定し、研究計画を策定する。ビデオ会議システムの利用などにより学生指導委員会を構成する両大学の教員が出席の下、学生は研究計画について発表、質疑応答を行う。	
	岐阜大学・インド工科大学	バイマンズリープログレスレビュー	学生は研究の進捗を共同指導教員に報告し、問題点や今後の計画などを話し合う。4 学期制の各学期に 1 度行うこととする。	
	岐阜大学・インド工科大学	アニュアルプログレスレビュー	1年に 1 度、学生は学生指導委員会において研究の進捗を報告、質疑応答を行う。	
	岐阜大学・インド工科大学	ディザテーションシノプシスレビュー	博士入学以降に得られた研究成果、国際論文の公表状況、どのように博士論文を取りまとめるのかについて、学生は学生指導委員会で発表、質疑応答を行う。主・副両大学の教員による学生指導委員会での審査を経て、博士論文提出の可否が決定される。	
	岐阜大学	食品科学技術特別講義	食品科学技術分野における最先端の技術について紹介し、食品科学技術研究に応用するための高度な知識と理論を習得する。	
	岐阜大学	食品科学技術特別セミナー	食品科学技術分野に関する最新の研究に関して紹介するとともに、それに基づく議論を行う。研究者や教育者に求められる幅広い視点と素養を習得する。	
	岐阜大学	食品科学技術特別演習	食品科学技術に関する最新の研究成果について取り上げ、研究の背景、最近の動向及び将来展望について討論する。研究者に求められる課題発見能力や問題解決能力を習得する。	

(注)

- 1 国際連携学科等を設置する場合は、別記様式第 2 号（その 3 の 1）に代えて、この書類を作成すること。加えて、国際連携教育学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については、当該科目の単位を修得した場合に、単位を修得したとする大学の書類に含めること。
- 2 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 3 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。

授業科目の概要（国際連携学科等）				
（岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻(D)）（インド工科大学グワハティ校）				
科目区分	開設大学	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		該当なし		

（注）

- 1 国際連携学科等を設置する場合は、別記様式第2号（その3の1）に代えて、この書類を作成すること。加えて、国際連携教育学科等を設置する大学及び連携外国大学別にこの書類を作成すること。共同開設科目については、当該科目の単位を修得した場合に、単位を修得したとする大学の書類に含めること。
- 2 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 3 私立の大学若しくは高等専門学校に収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。